

アンデスの音楽監修にあたって

「コンドルは飛んで行く」のメロディーに、何ともいえない郷愁を感じる方は多いのではないのでしょうか。この音楽は日本でフォルクローレと呼ばれ、その宝庫といえるのが南アメリカの中央に位置する国ボリビアです。

そこで約50年前に生まれた現代的な演奏スタイルは近隣諸国やヨーロッパの人々に大きな衝撃を与えて広まり、アンデス・フォルクローレのほとんどが、そのボリビア・スタイルの影響を受けているといえます。

人びとは明るく、生活はフィエスタ(祭り)や音楽と共にあります。本公演のタイトルでもあります大地の神パチャママへの讃歌のために、演奏し歌い踊ります。監修にあたり、ボリビアに生きる人びとの力強いエネルギーや息使いの感動を日本のできるだけ多くの方に感じて頂きたいと心より願っています。

菱本 幸二

●菱本幸二 プロフィール



1990年～96年までボリビアに滞在し、「ムシカ・デ・マエストロス」他数々の実力派グループやアーティストと演奏活動を行い、30枚以上のアルバム録音に参加。

1997年より笑う猫の全国公演に参加。また「ムシカ・デ・マエストロス」「アカパナ」の一員として、ドイツ、フランスをはじめとするヨーロッパ諸国での公演を行う。

2001年にポプラ社発行の総合学習の本でボリビアの笛にて紹介される他、2002年には日本教育図書センター制作のDVD小学校音楽教育実践指導全集のボリビアの笛紹介に出演。2001年、ラ・パス市よりボリビア音楽への貢献を表彰される。ソロ活動の他、国内のアーティストとの共演多数。

本場ボリビアからやってくる実力派グループ!



アンデスにいだかれた国、ボリビア

南米大陸の西側を南北に貫く、雄大なアンデス山脈。七つの国にまたがるこの山脈の麓には、数多くの民族が、それぞれ独自の習慣や文化を持って暮らしています。



スタッフ

監 修：菱本 幸二
出 演：クルス・デル・スール(南十字星)
企画・制作・招聘：株式会社 笑う猫



アーティストのクオリティが違々と絶賛!

笑う猫の世界民族音楽シリーズ

厚生労働省特別推薦文化財

笑う猫は、世界各地から本場で活躍する民族音楽の一流アーティストを直接招聘しています。



モンゴルの音楽
「大草原の風」



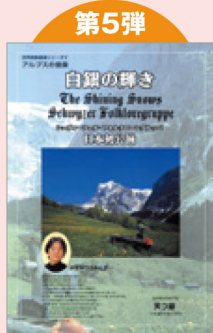
シルクロードの音楽
「遥かなる道」



チベットの音楽
「天空の響き」



アンデスの音楽
「大地の讃歌」



アルプスの音楽
「白銀の輝き」



アフリカの音楽
「魂の鼓動」



ロシアの音楽
「静かなるドン川」



韓国の音楽
「民の宴」

お問合せ
お申込み

(株)笑う猫
文化事業局

TEL 0422-56-2329

FAX 0422-56-2379

〒180-0012 東京都武蔵野市緑町2-1-5 <http://www.warauneko.com> E-mail: mail@warauneko.com